

「学校における業務改善」

「霧島市立陵南中学校」の実践紹介

効果が期待される取組

- ① 業務改善推進計画の作成 ② 重点取組の設定 ③ 表示の工夫 ④ 個人目標の設定

実施前の課題

- 推進計画（基本的施策や目的、自校の実態、方向性、具体的な実践内容等）が整備されていない。
- 活動が漠然とし、取組が焦点化されていない。
- 具体的な行動や取組が見えず、変容を感じ取れない。
- 業務改善に対する職員の意識が十分に高まらない。



実施後の成果

- 推進計画を作成したことにより、意義や見通し、ゴールが見え、取組意欲が高まった。
- 実態を反映した重点取組を設定したことにより、取り組む意義が明確になった。
- 表示の工夫により、達成状況を体感できるようになった。
- 個人目標を設定することにより、主体的な取組になった。

業務改善を目指した取組の詳細

1 業務改善推進計画の作成

年度当初に全職員で共通理解し、本年度の取組をスタートさせた。

令和2年度版の項立て

- | | |
|---------|------------|
| 1 目的 | 4 本年度の活動概要 |
| 2 施策・動向 | 5 重点取組 |
| 3 本校の実態 | 6 具体的実践内容 |
- (ストレスチェック、勤務時間、年休取得状況)



3 変容を実感できる表示の工夫

負担軽減や職務の効率化への具体的な取組をリンゴの実に例え、その達成度に応じて表示を変えるなどし、変容を感じ取れる工夫をした。

- 概ね達成できた取組 (Red Apple)
- 継続し推進する取組 (Green Apple)



2 実態に基づく重点取組の設定

前年度の実態

- 平均年休取得日数は、13.8日であったが、個人差が大きい。
- 令和元年9月～令和2年2月の1月当たりの平均超過勤務時間は46時間37分であり、45時間以内をわずかに超過した。
- 子育てや親を介護する必要がある世代の職員が多い。

本年度の重点取組

- ① 年間年休取得目標 **13日以上（全職員）**
- ② 「あと5分早く！」部活動終了後 **1時間以内の退校**
- ③ 相互サポート「来た道・行く道（育児・看護・介護）」

4 個人別行動目標「私の1Try」の設定

業務改善の内面化を図り、職員の参画意識を高めるために、個人別の行動目標を設定した。職員室に掲示し、学期ごとに達成状況を確認するなど、全職員が変容を楽しみながら取り組んでいる。



今後の課題、計画

- 到達目標や達成度を設定した年次計画を立て、取組の加速化と変容の体感化を図る。
- 個人的な取組や成功例の集約と情報共有を行い、改善の質と幅を拡充していく。